

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の14%に当たる14.4平方キロ、人口は1.2%に当たる2,171人、世帯数は766世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の多くの機能を持つ施設となっている。また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者手作りの学級・講座を開設し、それぞれに興味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。各種の住民団体が円滑な活動をすすめられるよう援助・協力をする。

3. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点とする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより・お知らせ」の発行 年5回発行

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
（蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 期間2週間）

6. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日 午前9時～午後5時（祝日及び第2第4月曜日は休館）
火・金曜日の夜間（午後10時まで）

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
利用件数	486	484	532	532	535
利用人数	6,649	6,742	5,441	5,980	5,975
開館日数	325	321	320	323	322

事業の部

事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	子育て教室	楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習した。	2・3歳児と保護者 26組 延べ 302名 子ども 163名、 大人 139名	6月～1月 9回
	家族で遊ぼう	家族遊びを通して、幼児への父親や家族の係わりかたを、共に考える機会とする。	父親や家族と幼児 7組 延べ 15名 子ども 8名 大人 7名	10月28日 1回
	楽しく家庭教育講座	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。	主に小学生の保護者 延べ 293名	5月～3月 34回
青少年教育	剣道教室	異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につけるよう指導した。	地区の小学生 延べ 403名	5月～3月 24回
	佐倉っ子塾 おもしろ体験教室	軽スポーツ大会(1)・はたおり(1)・凧作り(1)・料理(3)・理科実験(1)を地域の協力で実施し、子どもの自立と健全育成を図った。	地区の小学生 延べ 201名	6月～2月 7回
	夏休みおもしろ体験合宿	子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供した。	地区の小学生(4年～6年) 延べ 36名	8月17日～ 18日 1泊2日
成人教育	地域活動実践 パソコン教室	名簿、会計簿、領収証、会報誌の作成など、地域活動の実践現場で役に立つパソコン技術を学習した。	地区の成人 延べ 88名	5月～3月 22回
	パソコン自由利用	自由にパソコンを利用してもらった。 パソコン 2台	一般	通年
	図書貸し出し	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	一般	通年
	佐倉学講座 ふるさと講演会	「佐倉教育の日」関連事業として、明治期の土族授産事業であった佐倉同協社にスポットを当て、苦境を乗り越えていった先人の事績を学ぶ。	一般 30名	10月27日

	佐倉学講座 ふるさとの味工房	地域の食材をいかして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図る。【太巻き寿司2回、大和芋1回、和田の新鮮野菜料理1回】	市内の成人 延べ55名	9月～2月 4回
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田 地域塾	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見していくための講座を実施した。	地区の成人 延べ86名	4月～1月 6回
	健康づくり教室	地域の中で定期的に地域住民が集い、健康増進を図ることができる場として、体力の向上・ストレスを解消できるエアロビクス教室と、栄養士・保健師を依頼して、日頃かかえている身近な健康相談も実施した。	地区の成人 延べ77名	9月～2月 6回
	和田公民館文化展	公民館利用団体・地域の個人作品の展示会を実施した。	一般 延べ272名	11月16日～ 11月18日 3日間
	地域づくり入門講座 和田地区防災訓練	和田地区の各種団体の協力を得て、災害時の心構えと行動を訓練することにより、防災意識の向上と地域づくりの促進を図る。	和田地区住民 46名	1月27日 1回
高齢者教育	長命大学健康教室	高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう、様々な学習を行った。	主に60歳以上の成人 延べ82名	9月～3月 7回
	長命大学手芸教室	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを啓発した。	主に60歳以上の成人 延べ71名	5月～3月 10回
広報・展示	公民館だより発行	公民館主催事業や地域行事等の情報提供を行った。(各700部)	和田地区全世帯	年5回発行
	歴史民俗資料室の公開	和田ふるさと館歴史民俗資料室の運営及び特別展「私立天辺学館」の開催。「佐倉教育の日」関連事業・・・入場者数・・・704名	一般 入館者2,185名	通年
団体育成	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田地区青少年育成住民会議	通年
	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。 【しめ飾り講習会・・・45人】	和田小PTA民俗資料収集委員会	通年
	団体育成事業	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう協力援助した。	和田はたおり保存会	通年

1. 家庭教育事業

子育て教室・家族で遊ぼう

○開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。

○対象・人数 地区の2～4歳児とその保護者 延べ317名（うち家族で遊ぼう・延べ15名）

○期間・回数 平成19年6月～20年1月 10回（うち家族で遊ぼう・1回）

○指導者 蓮 淳子

○学習プログラム

回	月 日(曜)	テ ー マ	会 場
1	6月29日(金)	開講式 お母さん大好き	和田ふるさと館
2	7月13日(金)	お話を聞こう	和田ふるさと館
3	9月14日(金)	こんなことできるかな？	和田ふるさと館
4	9月28日(金)	ふしぎがいっぱい	和田ふるさと館
5	10月12日(金)	からだで遊ぼう	和田公民館
6	10月28日(日)	家族で遊ぼう	和田公民館
7	11月 9日(金)	秋の自然で遊ぼう	和田ふるさと館
8	12月 7日(金)	クリスマスお楽しみ会	和田ふるさと館
9	1月11日(金)	地域の伝承行事を体験（成木）	和田公民館
10	1月25日(金)	発表会をしよう 閉講式	和田ふるさと館

楽しく家庭教育講座

○開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。

○対象・人数 主に小学生の保護者 延べ 293名

○期間・回数 平成19年5月～20年3月 34回（主に水曜日の午前）

○指導者 職員、インストラクター、郷土史家、地域人材講師、おやじの食事同好会
食生活改善推進員

内 容 子育ての傾向と対策、イキイキ女性の先覚者、食育を考える、PTA活動のPC活用術、身近な運動テニス体験 等

○「子育て教室」「楽しく家庭教育講座」を終えて

「楽しく家庭教育講座」は、参加者の要望に応え毎週水曜日の午前中に開催。学習の場として以上に、情報交換やPTA活動、仲間づくりの場などとして定着しました。さらに「子育て教室」で、教室を修了した幼稚園児の親が講師補助として事業に参画し、地域の中で、2～3歳児・幼稚園・小学生の親がつながりをもって家庭教育を学習する環境が出来つつあります。また、参加者の91%がたいへん子育ての参考になったとのアンケート結果でした。

2. 青少年教育事業

剣道教室

- 開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道を通し心身の健全育成と社会人として必要な習慣を身につける。
- 対象・人数 地区の小学生 延べ 403名
- 期間・回数 平成19年5月～19年3月 24回
毎週土曜日 午後2時～4時
- 学習目標 剣道をとおして礼節を学び、たくましい心身をつくる。仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。
- 指導者 寺田政一
- 協力者 鈴木富雄・藤崎英樹・江野沢清美
- 学習内容 剣道の基本修得・月例試合・対外試合・級位審査会 等
- 講座を終えて
今年度は、剣道を通して、子どもの心身の訓練や仲間づくりを図りました。また、親の会も昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動しました。今後も、子どもたちの育成の場として、地域の方々と協力しながら継続していきたいと考えます。

佐倉っ子塾おもしろ体験教室

- 開設趣旨 和田地区青少年育成住民会議等と和田公民館が共催で行う事業で、地域住民の協力を得ながら、地域素材を活かした体験教室を通じて青少年の自立と健全育成を図る。
- 対象・人数

子ども料理教室	和田小学校の1～6年生	延べ 77名
はたおり体験	和田小学校の3年生～中学生とその保護者	延べ 15名
理科実験教室	和田小学校の4～6年生	18名
ニュースポーツ体験 (グラウンドゴルフ)	和田地区の小学生以上の人	43名
凧作り体験	和田小学校の1～6年生	48名

 (3年生までは保護者と一緒に)
- 期間・回数 平成19年6月～20年2月 7回
午前9時30分～12時(凧作りのみ午前9時～午後3時)
- 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。
- 指導者 六崎美知代(体育指導委員) 山本 等(青少年相談員) 和田はたおり保存会 他
- 共催 和田地区青少年育成住民会議(全事業共催)
和田地区社会福祉協議会(ニュースポーツ体験共催)
- 協力者 主任児童委員、青少年相談員、和田子ども会
- 学習内容 料理・理科実験、グラウンドゴルフ・凧作りなど
- 学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
6月30日 (土)	第1回 子ども料理教室	夏らしくさっぱりしたサラダウドンと、ボリュームのあるウインナーの包み焼きの2種類に挑戦した。	六崎 美知代	和田公民館 実習室
7月29日 (日)	はたおり体験	和田ふるさと館所蔵のはたおり機を使って、親子ではたおりを体験した。	はたおり保存会	和田ふるさと館ふるさと伝承室

8月18日 (土)	理科実験教室	「エネルギーを大切に」をテーマに、様々な燃料や動力について学び、自分たちでタービンを作って物を動かす力のしくみを体験した。	地域指導者	和田公民館 実習室
10月20日 (土)	第2回 子ども料理教室	色々な型を使ってのクッキー作り・ウインナーのピロシキ風・ひじきご飯とパラエティのある献立に、子ども達ががんばって挑戦した。	六崎 美知代	和田公民館 実習室
10月28日 (日)	ニュースポーツ 体験	和田の子どもからお年寄りまでが、一緒に楽しくグラウンドゴルフを体験した。	和田地区 社会福祉協議会 青少年育成住民会議	和田小学校 運動場
12月23日 (日)	凧づくり教室	地域団体が協力し伝統の彦一凧作りに挑戦した。	青少年育成住民会議 青少年相談員 和田子ども会	和田ふるさと館 2Fホール
2月2日 (土)	第3回 子ども料理教室	ココアロール・きな粉あめ・ケーキずしの3種類のメニューを完成させ、みんなで感想をのべながら試食した。	六崎 美知代	和田公民館 実習室

○講座を終えて

すべての事業は、和田地区青少年育成住民会議などの地域団体と公民館が共催で実施しました。

「子ども料理教室」は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的に実施し、色々な食材を使った献立は、人気があり参加者がとても多かったです。尚、子どもたちは、熱心に学び料理に興味を持ち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じ取ってくれたと思います。料理は、持続することと体験の積み重ねが大切で、その結果、自信にもつながるので今後も継続させていくつもりです。

「はたおり体験」は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場の提供をすることができました。

「理科実験教室」は、実験をとおしてエネルギー資源の大切さを学びました。

「ニュースポーツ体験」は、住民会議と和田地区社会福祉協議会と共に実施し、地域の子どもの地域住民が交流し青少年の健全育成を、地域で考える場になっていると思います。

「凧作り」は、住民会議と青少年相談員・和田子ども会の共催で実施し、子ども達が自分の力で伝統的な彦一凧作りをしました。紙に子ども達が絵を描き、それを竹ひごにはって、凧に仕上げていきますが、なかなか思うように作ることができず、それをまわりの大人が話しかけながら手伝うなど地域で子どもを育てる機会となっています。

今後も、地域の方々と協働し色々なおもしろ体験を通して青少年の健全育成を地域と共に考えていきたいと思っています。

夏休みおもしろ体験合宿

開設趣旨 子どもの自主性、協調性、社会性を高めるため、保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供する。

対象・人数 地区の小学生4年～6年 男4・女14 計18名(延べ36名)

期間・回数 平成19年8月17日～18日 1泊2日【和田公民館内で合宿】

午後2時集合 午後0時30分解散

指導者 六崎美知代 ほか

講座を終えて

昨年度に引き続き、夏休みおもしろ体験合宿を開設。事前に「体験合宿保護者打合せ会」を開催し、「合宿内容の企画について」、「夕食、宿泊、朝食などの際の保護者サポート当番について」の打合せを行いました。

合宿では、身近な生活の中から子どもたちが学習する動機を見出すことができるように、クッキングや理科実験教室なども行いました。

3 . 成人教育事業

地域活動実践パソコン講座

- 開設趣旨 名簿、会計簿、領収証、会報誌の作成など、地域活動の実践現場で役立つパソコン技術を学習する機会を提供し、地域人材育成を図る。
- 対象・人数 地区の成人 延べ88名
- 期間・時間 平成19年10月16日・10月23日・10月30日
11月2日・11月6日・11月13日・11月20日・11月27日
12月4日・12月7日・12月11日・12月14日
平成20年1月22日・1月25日・1月29日
2月5日・2月12日・2月19日・2月26日
3月4日・3月7日・3月11日
午後7時30分～10時00分 全22回
- 指導者 地域人材者と職員

講座を終えて

講座は、地域情報発信が必要な小学校 PTA や地区社協の広報担当者などが参加。すべてパソコン編集で会報誌を発行することができたことにより、地区住民の情報活用能力が高上したと思われる。また、参加者の47%がたいへん地域活動への関心が高まったとのアンケート結果でした。

健康づくり教室

- 開設趣旨 地域の中で定期的に地域住民が集い、健康増進を図ることができる場として、体力の向上・ストレスを解消する健康づくり教室（エアロビクス）を開設すると同時に、日頃かかえている健康相談も行う。
- 対象・人数 地区の成人 延べ77名
- 期間・回数 平成19年 9月25日（火） 10月23日（火）
平成19年11月27日（火） 12月18日（火）
平成20年 1月29日（火） 2月26日（火） 全6回
午後7時30分～9時
- 学習内容 ・音楽のリズムに合わせて、ストレッチとダンスステップをリズムカルに行うフィットネスを月1回行い、体力の向上、ストレス解消等を図る。
・保健師・栄養士を依頼して研修会（生活習慣病、栄養・食生活、休養・こころの健康づくり等）を実施した。
- 指導者 伊藤 晶美、保健師・栄養士（南部児童センター）

○講座を終えて

今年度は、よそおいも新たに健康づくり教室として開設しました。エアロビクスの他に、健康相談も積極的に取り入れ、半年間（月1回）の開催でしたが、充実した講座になりました。

受講生も、仕事帰りにもかかわらず講座を最後までやりとげることが出来ました。これからも、ゆとりをもって、毎日の生活にめりはりをつけ、こころもからだもリフレッシュ出来るようがんばってまいります。

佐倉学・ふるさとの味工房

- 開設趣旨 和田地区の特長を活かし、食材を地元の物を使用して食文化の伝承を図る。
- 対象・人数 成人 延べ55名
- 期間・回数 平成19年9月～平成20年2月 4回

○学習プログラム

月 日	テ ー マ	内 容	指 導 者	会 場
9月28日 (金)	太巻き寿司講座 NO.1	秋のシーズンにふさわしい「菊一本」と、小さくてとてもかわいらしい「てんとう虫」の2種類の巻き方を指導してもらいました。	伊藤芙美子	和田公民館 実習室
10月10日 (水)	和田の新鮮野菜 料理講座	和田産の新鮮なもぎたての野菜を使った新鮮野菜料理講座とあって、見た目も美しく、しかも美味しくて栄養価の高い5種類(黒糖入り豆乳寒天・大和芋の梅肉あえ・秋の吹き寄せ煮・大和芋のふわふわ卵・お吸い物)を指導してもらいました。	食生活改善 推進委員和 田支部	和田公民館 実習室
1月25日 (金)	太巻き寿司講座 NO.2	節分にふさわしく、一本の卵巻きの中に赤鬼・青鬼を半分ずつに分けて巻き上げた卵巻き、のり巻きで作った文銭巻き、いずれも綺麗に巻き上がりました。	伊藤芙美子	和田公民館 実習室
1月26日 (金)	大和芋のおいし い食べ方講座	今年度も、市内一円に公募して参加者を募集しました。地元で栽培された新鮮な大和芋を使ってのメニュー、大和芋の山かけ、大和芋の納豆焼き、お吸い物、大和芋の三種混ぜ、五目揚げ、茶巾しぼりの6種類を手際よく作り、受講生全員で試食し、とても好評でした。	伊藤芙美子	和田公民館 実習室

講座を終えて

今年度のふるさと味工房については、太巻き寿司・和田の新鮮野菜料理講座は、和田地区対象に実施しましたが、大和芋の美味しい食べ方講座については、「和田の大和芋」を市内一円に知ってもらおうという趣旨から、広報で参加者を募集しました。その結果、参加者同士、ともに学び、講座を通じて、ふれあい、お互いのコミュニケーションが深められました。又、もぎたての新鮮野菜をおいしく食べる講座は、特に、人気が高く、とても好評でした。和田地区は、特産品の大和芋をはじめ、農産物がいろいろと豊富なのでこれからも講座の中で是非、取り入れていきたいです。

佐倉学入門講座・楽しく学べる和田地域塾

開設趣旨 和田地区の歴史や民俗、自然や地理等を学び和田地区に対する知識理解を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を普及推進する。

対象・人数 成人 延べ 86名

期間・回数 平成19年4月～平成20年1月 6回

学習プログラム

月 日	内 容	指 導 者 等
4月20日(金)	和田のなりわいと米作りについて	栗山 勇・円城寺治司氏 (地元農家)
5月11日(金)	大和芋づくり体験	戸村 功氏(地元農家)
6月 1日(金)	和田を歩いてみよう	松平喜美代氏(植物研究家)
10月26日(金)	はじめてのワラ細工	公民館職員
11月28日(水)	大和芋づくり体験	戸村 功氏(地元農家)
1月29日(火)	ワラぞうり作りに挑戦	藤井 毅氏(地元農家)

講座を終えて

佐倉学入門講座として本事業を新規に開設し、市内の各地域から参加があつて、好評を得ることができました。特に地元農家の協力を得ながら特産物の大和芋づくりをすることができたことは、地場産業への理解・関心を高める効果があつたと思います。

また、地元農家の指導によるワラの香りを楽しみながらのぞうり作りは、住民との交流と伝統文化を知るための貴重な機会となつたと思います。

ふるさと講演会

○開設趣旨

「佐倉教育の日」関連事業として明治期の士族授産事業にスポットをあて、郷土史研究家の「高橋誠一」氏を講師に招いて、「倉次亨と同協社」と題して講演会を実施しました。なお、同協社関係の展示もあわせて実施しました。

○対象・人数

一般 30名

期間・回数

10月27日(土)

○学習目標

「佐倉同協社」事業を通じて、明治期に行われた士族授産事業の一端を理解するとともに、共同することの大切さを学ぶ。

○講座を終えて

佐倉では江戸時代より茶栽培が行われ、明治期になって士族授産のため、上勝田村の飛地があつた富山(現八街市)で、大規模な茶栽培が行われるようになった経過を理解することができました。参加者には、同協社社員の子孫の方もおられて意見交換があり、同協社や茶栽培に関する知識を深めることができました。

地域づくり入門講座 和田地区防災訓練

○開設趣旨

和田地区の各種団体の協力を得て、災害時の心構えと行動を訓練することにより、防災意識の向上と地域づくりの促進を図る。

○対象・人数

和田地区住民 46名

○期間・回数

1月27日(日) 1回

○学習目標

地域での防災活動が促進されることをねらいとして公民館主導で実施し、訓練方法や関係機関との連携を学んでもらう。

○講座を終えて

今回の訓練は、和田地区社会福祉協議会と連携しながら、市交通防災課の協力を得て実施しました。主な訓練内容としては、防災関係のビデオ映写、市の防災体制と自主防災組織の説明、機材取扱い訓練(浄水器操作・簡易トイレ組み立て)、消化訓練及び避難訓練、給食訓練(アルファ米の炊き出し)について学びました。

このような事業は繰り返し実施していくことが大切であり、今後ともこのような訓練の場を提供していきたいと思います。

4 . 高齢者教育事業

長命大学健康教室

○開設趣旨 高齢者が心身共に健康で生き甲斐のある生活を送れるよう、様々な学習機会を提供する。

○対象・人数 和田地区在住で主に60歳以上の男女 延べ82名

○期間・回数 平成19年9月～20年3月 7回

○学習プログラム

回	日 時	学 習 内 容	指 導 者 等	会 場	人 数
1	9月4日(火) 10:00～12:00	漫才を見ながら、あなたの健康度チェック	高齢者福祉課職員	和田公民館	8人
2	10月2日(火) 10:00～12:00	介護保険の申請からサービスの利用まで	高齢者福祉課職員	和田公民館	6人
3	11月6日(火) 10:00～12:00	自宅でできる！簡単！健康体操	高齢者福祉課職員	和田公民館	6人
4	12月12日 (水) 9:30～16:30	和田地区交流バス見学会	公民館職員	南房総市	40人
5	1月8日(火) 10:00～12:00	介護保険サービスの種類について	高齢者福祉課職員	和田公民館	6人
6	2月5日(火) 10:00～12:00	物忘れを予防する生活	高齢者福祉課職員	和田公民館	6人
7	3月4日(火) 10:00～12:00	「アコーディオン演奏と歌のつどい」	アコーディオンさくら	和田公民館	10人

○講座を終えて

今年度の長命大学は、地域のかたの協力を得ながら高齢者のための健康教室を開催し、地域住民福祉を考える機会となりました。更に、高齢者と地区住民との交流事業としてバス見学会を実施し、地域のふれあいの機会としました。

長命大学 手芸教室

○開設趣旨 高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐作りを進める。

○対象・人数 60歳以上の女性 延べ71名

○期間・回数 平成19年5月～19年3月 毎月2回

(2回のうち1回は自主活動)10回

○指導者 佐藤 節子

○学習内容 リフォームを中心とした編物(文化展に作品展示)

講座を終えて

長年にわたる活動で、手芸技術はかなり高度なものとなっている。高齢者どうしの親睦をはかると同時に家庭内での高齢者の役割を考える為にも重要である。受講生が減少しつつあるため、公民館だよりや口コミなどで、随時、呼びかけていきたい。

5 . 広報・展示事業

広報事業

公民館だより 公民館主催事業や地域行事等の情報を提供する。
 発行 年5回発行(6月、8月、9月、10月、12月)
 配布方法 区長を通し各戸配布

展示事業

和田ふるさと館歴史民俗資料室展示事業 事業趣旨

平成13年4月1日、和田ふるさと館内に和田公民館別館として「和田ふるさと館歴史民俗資料室」が開室しました。展示の中心となる農具・民具の実物資料は、昭和45年より和田小学校PTA民俗資料収集委員会が地区内に散在する資料の収集を行い、平成11年に佐倉市への寄贈を受けたものです。歴史民俗資料室は、和田地区の歴史環境・自然環境と地域の人材を活用した地域づくりの拠点、市民の生涯学習の拠点としての機能を持ち、学校教育の支援も行っています。

今年度は、佐倉市教育の日事業として特別展「私立天辺学館」を開催し、大正・昭和初期に行われた私学教育の一端を明らかにするとともに、教育の大切さを再認識する場の提供を行いました。

なお、小学校等団体見学については、地区高齢者によるボランティアガイド、和田はたおり保存会によるはたおりの実演を引き続き実施しています。

入室状況

入室者数 合計 2,185名 (入室票記入個人 及び 事前申し込み団体)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
区 分														
個 人	人数	26	12	48	32	55	16	38	354	320	39	25	16	981
	件数		4	9			1		2					16
団 体 小学生	人数		342	617			70		40					1069
	件数			2	1			1						4
団 体 一 般	人数			70	50			15						135
	件数													

特別展 11月15日(木)～12月24日(月)

入場者数 704名

(詳細については冊子『私立天辺学館』を作成しており、市政資料室及び市内図書館で閲覧することができます。)

文化展

開催趣旨

平成4年度に、「和田ふるさとまつり」の特別展事業として実施したものを平成5年度より公民館事業として位置づけ、公民館で実施した主催事業の紹介、公民館活動グループの作品発表、また広く地域住民に呼びかけて、個人作品を出品してもらい、地域交流の場の提供を行っている。

入場者数

272名

期間

平成19年11月16日(金)～18日(日)

会場

和田公民館

内容

はたおり作品展・手編み作品展
 生花作品展・手芸作品展
 刻字作品展・篆刻作品展
 個人作品展

6 . 団体育成事業

和田小学校 P T A 民俗資料収集委員会

昭和 4 5 年、和田小学校 P T A が校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、4 6 年 1 1 月に収集委員会を設置しました。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て、平成 1 1 年 1 0 月に佐倉市へ寄贈されました。

現在では民俗資料の収集自体は概ね終了しており、収集委員会では引き続いて、地区住民や公民館と連携し、民俗資料の活用や伝統技術の伝承等の活動を行っています。和田小学校児童に対する活動を積極的に行い、各種事業を通じて子どもと触れ合う時間を多く持つことが出来ました。特に小学校の総合的な学習の時間を利用して、5 年生にミニぞうり作りの指導をしました。

又、恒例のふるさと祭りやしめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施しました。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助しています。

平成 1 9 年度 和田小 P T A 民俗資料収集委員会活動内容

月 日	活 動 内 容
5 月 2 5 日 (金)	役員改選・事業計画
6 月 9 日 (土)	バラッパまんじゅう準備、サルトリイバラ採取と塩漬け作業
1 0 月 2 6 日 (金)	ふるさと祭り・しめ飾り講習会打ち合わせ
1 1 月 1 7 日 (土)	伝承遊び・バラッパまんじゅう準備
1 1 月 1 8 日 (日)	和田ふるさと祭り (伝承遊び・バラッパまんじゅう配布) 参加者 5 2 6 名
1 2 月 2 2 日 (土)	しめ飾り講習会 しめ飾りづくりの講習 参加者 4 5 名
2 月 2 9 日 (金)	和田小ワラ細工体験 5 年生がミニぞうり作りに挑戦 指導協力者 篠崎さん他 P T A 2 名 参加者 2 0 名
3 月 2 1 日 (金)	事業報告・会計報告

和田はたおり保存会

和田小 P T A 民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和 5 1 年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成されました。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っています。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、5 月・6 月にかけて歴史民俗資料室を訪れた約 1 0 0 0 人の小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行いました。

また 7 月には公民館主催の「親子おもしろ体験」に指導者として協力して、はたおりの面白さを参加者に伝えていきます。1 1 月の文化展では、ふるさと館を会場としてはたおりのメンバーの方が作った作品展示や、一般希望者にはたおり体験をしてもらいました。

和田ふるさとまつり

- 趣 旨 和田地区青少年育成住民会議が実施してきた体育大会を、和田ふるさとまつり（平成5年2月）をきっかけとして、「拡大実施しよう」との声が地域で高まり、住民会議を構成する各種団体が主体となって、この和田ふるさとまつりが実施されている。このような地域ぐるみ活動を、公民館では積極的に支援し協力している。
- 参加人数 一般市民（小学生～高齢者） 526名
- 日時 平成19年11月18日（日）午前9時～午後2時
- 内容 剣道野試合・伝承遊び・餅つき・豚汁・バラッパ饅頭・体脂肪測定・バザー・応急手当講習・バクダン菓子

7. 図書事業

- 趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

蔵書数 1,800冊
月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	5	9	35	47	2	3	15	9	0	7	5	20	157
返却数	22	52	1,519	155	175	150	3,795	218	70	260	94	102	6,612